

# 加西市 次世代校務 DX 基盤（ゼロトラスト環境）及び教職員用端末更新に係る 情報提供依頼（RFI）

## 1 目的

当市では、文部科学省が策定した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和7年3月改訂）」に完全準拠するため、現在の境界防御型ネットワークからクラウドの本格活用を前提とした「ゼロトラストアーキテクチャー」への移行を計画している。当市は、既に教職員及び児童生徒全員分の「Google GIGA License」を保有しており、このライセンスが提供する高度なセキュリティー機能群（Education Plus 相当）を中核に据えた次世代校務 DX基盤の構築を目指す。

本 RFI は、教職員用端末の全面更新及びネットワーク・認証基盤のゼロトラスト化構築に向け、技術的実現性、最適なシステム構成、夏休みからの並行稼働を含む段階的導入の運用手法及び経費情報（構築年度の初期構築費と、稼働後5年間の運用・リース経費の切り分け）について、広く関連ベンダーから情報及び提案を収集することを目的とする。

## 2 情報提供依頼の概要

次の要件を満たすシステム及びネットワークの提案を求める。

### (1) ゼロトラストネットワーク及び認証基盤（Google Workspace の最大活用）

#### ア コンテキストウェアアクセス（CAA）

本市が保有する Google GIGA License の機能を活用し、IPアドレス等の基本モードだけでなく、デバイスの管理状態やOSの健全性等の詳細モードを組み合わせた動的アクセス制御を設計・実装すること。

#### イ 多要素認証（MFA）

ガイドラインで求められる「重要性分類Ⅱ」以上のデータに対する多要素認証について、追加のハードウェア（FIDO2 キー等）やサードパーティ製 IdP を導入することなく実現する設計を提案すること。具体的には、CAA を活用して「市が支給・管理する Chromebook 端末」にアクセスを制限することで「所持情報」とし、これにアカウントのパスワード（知識情報）を組み合わせることで MFA 要件をクリアする構成とすること。

#### ウ SAML SSO および運用自動化

本市が利用する各種校務支援システム等に対し、Google Workspace を IdP とした SAML シングルサインオン環境を構築すること。また、「動的グループ」を活用し、教職員の異動や役割変更に伴う権限付与の自動化を設計すること。

#### エ データ保護と情報漏洩対策

「Chrome Enterprise Premium（CEP）」の追加導入は不要とする。代わりに標準の「データ損失防止（DLP）」を活用し、重要性分類に基づくファイルの自動ラベル付与や、CAA と連携した制御（校外からのアクセス時のダウンロード・印刷制限等）を実装すること。また「信頼ルール」を用いて、Google ドライブにおける組織内外のファイル共有境界を厳格に設計すること。

オ 既存 Windows 端末の統合

現在稼働中の Windows 端末 (50 台) についても、Google Credential Provider for Windows (GCPW) や Endpoint Verification 拡張機能等を活用し、Chromebook と同等のゼロトラストアクセス制御下に統合する構成を提案すること。

(2) 教職員用エンドポイントハードウェア及び周辺機器の更新

ア ChromeOS を搭載し、「Chromebook Plus」のハードウェア要件を満たす法人向けモデルであること。

イ 14 インチ以上のタッチ対応ディスプレイを備え、360 度回転ヒンジを有する 2-in-1 (コンバーチブル) 型であること。

ウ Intel Core i5 (又は同等クラス以上の処理性能) 及び 8GB 以上のメモリーを搭載していること。

エ USI 2.0 規格に対応した純正ペンが付属すること。ペンは紛失防止のため、端末本体へのマグネット装着又は本体収納が可能な設計であること。

オ タッチパネルに貼付するフィルムとして、光興業製「PLS-141」と同等以上の仕様 (抗菌性能、ブルーライトカット約 30%、硬度 3H、ノングレアによる反射防止機能、紙のような書き心地) を満たすものをセットで提案すること。

カ 執務室用の外部液晶ディスプレイとして、24 インチクラスのモデルを提案すること。必須要件として「USB Type-C 給電」に対応し、Type-C ケーブル 1 本で Chromebook への映像出力と給電 (AC アダプター不要化)、及びディスプレイ内蔵 USB ハブへの周辺機器接続が同時に行えるモデル (アイ・オー・データ機器製等) であること。

(3) Virtual App Delivery (VAD) 等によるレガシーアプリケーション統合要件

ア Cameyo 等の VAD ソリューションを活用し、Chromebook の Chrome ブラウザー上で、Windows 版の Microsoft Word 等をストリーミング稼働させ、「縦書き」機能を遅延なく利用できるようにする構成案を提案すること。特定の製品にはこだわらないため、本要件を満たす最適なソリューションを提案すること。

イ 各校の 1 端末でスタンドアロン稼働している備品管理ソフト (第一電子「備品丸」) について、VAD 環境へのホスティング、または他メーカーのクラウド版等へのデータ移行により、全校から一元管理・アクセス可能なクラウド運用へ移行する構成を提案すること。

ウ ホストサーバー側で必要となる Microsoft のライセンス (RDS CAL や Microsoft 365 アプリ等) の調達方法及びコンプライアンスを遵守したライセンス体系を提示すること。

エ VAD 環境における Google Workspace アカウントでのシングルサインオン (SSO) の実現と、作成したファイルを Google Drive へ直接、かつ、安全に保存・参照するためのマッピング手法を提案すること。

(4) データ移行及びチェンジマネジメント

既存の外部プライベートクラウド環境 (ファイルサーバー等) から Google Drive へデータを移行する際、文部科学省のガイドラインに沿った権限設計と、情報保護機能 (DLP/信頼ルール) を実装するコンサルティング手法を提案すること。

### 3 プロジェクトの前提条件及び規模

- (1) 対象組織及びユーザー数
  - ア 加西市内の全公立小中学校及び教育委員会
  - イ 教職員：約 365 人、児童生徒：約 2,800 人
- (2) 既存保有ライセンス

Google GIGA License (教職員・児童生徒分全て保有済み)
- (3) 機器・ライセンスの規模
  - ア 教職員用 Chromebook Plus 端末：365 台
  - イ 外部液晶ディスプレイ (24 インチ・Type-C 給電)：365 台
  - ウ 純正スタイラスペン (USI 2.0)：365 本
  - エ ペーパーライクフィルム：365 枚
- (4) 想定スケジュール (段階的移行)
  - ア 第 1 期 (ゼロトラストネットワーク基盤、教職員用端末及び周辺機器、VAD 環境の設計・構築)：令和 9 年 5 月 1 日～令和 9 年 7 月 31 日 (令和 9 年 8 月 1 日より、夏休み期間を利用して新環境の並行稼働及び教職員研修を開始)
  - イ 第 2 期 (外部プライベートクラウドからのデータ移行及びチェンジマネジメント)：令和 9 年 5 月 1 日 (又は 9 月 1 日以降)～令和 9 年 12 月 31 日 (2 学期中を新旧システムの並行稼働期間とし、教職員の負荷を軽減しながら段階的なデータ移行と定着を図る。完了により令和 10 年 1 月 1 日に完全移行)

### 4 情報提供依頼の内容

- (1) 提供依頼事項
  - ア 次世代校務 DX 基盤に関する提案書 (ゼロトラスト要件を満たす全体アーキテクチャー図、Google GIGA License の標準機能でカバーできる範囲と、要件を満たすために追加で必要となるツール (IdP、MFA キー、VAD 等) の明確な境界線の明示を含むこと。)
  - イ 概算経費
  - ウ プロジェクト計画案 (WBS) (令和 9 年 5 月 1 日着手から、令和 9 年 8 月 31 日の第 1 期構築完了及び令和 9 年 12 月 31 日の完全移行を実現するための作業分解構成図及びマイルストーン。)
- (2) スケジュール
  - ア 誓約書提出及び事前協議：令和 8 年 7 月 10 日 (金) まで
  - イ 提案書及び概算経費の提出期限：令和 8 年 8 月 31 日 (月) まで
- (3) 提出方法

電子メールで提出すること。件名は「加西市 次世代校務 DX 基盤に関する情報提供」とする。なお、資料の容量が 5MB を超える場合は事前に相談の上、加西市が指定するファイル転送サービスを使用すること。
- (4) 提出先

「8 提供する情報の提出先・問合せ先」のとおり。

## 5 概算経費

初期導入費及び運用経費（月額・年額）について算出すること。予算計画の前提に基づき、次の費用を明確に分けて記載すること。ほかに必要な項目があれば適宜追加しても差し支えない。

### (1) 構築年度（令和9年度）一括払い費用（初期費）

ア ネットワーク構成変更・設計費及び SAML SSO・動的グループ・信頼ルール・DLP・CAA 等を含む Google Workspace ゼロトラスト基盤設計・設定費

イ データ移行・情報分類コンサルティング費

ウ 端末・周辺機器のキッティング（初期設定）費用

### (2) 5年間のランニング費用

ア 端末一式（Chromebook Plus 本体、ペン、フィルム、24インチ Type-C ディスプレー）の5年リース月額・年額費用

イ VAD ソリューション利用料、IdP・MFA 等各種 SaaS ライセンスの月額・年額費用

## 6 質問の受付

(1) 質問は電子メールを用いること。

(2) 電子メールの件名は「加西市 次世代校務 DX 基盤 RFI に関する質問」とすること。

## 7 情報等の取扱い

(1) 本情報提供依頼は、次世代校務DX基盤に関する知識や技術、予算規模等について、広く情報を得るための手段として実施しているものであり、契約を前提としたものではない。

(2) 本 RFI に要する費用は全て事業者の負担とする。

(3) 提供を受けた提案・資料等は返却しない。

## 8 提供する情報の提出先・問合せ先

加西市 政策部 情報課

担当：深田、松本、東郷

電話：0790-42-8703

電子メール：joho@city.kasai.lg.jp